

2008年度第3回番組審議会議事録

1. 開催日時 2008年9月10日(水)17時~18時

2. 開催場所 弊社会議室

3. 委員の出席

3-1. 委員総数 8名

3-2. 出席委員 8名 木辻清子・萩尾利雄・正岡健二・高木邦子・山本幸男・為岡務・平川愛恵
中嶋知之

補：放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子

4. 議事

4-1. 番組審議

第3回審議番組「南の風」 奄美篇 8月25日(月)13:00~14:00 放送

パーソナリティ：大橋 愛由等

毎週月曜日13:00~14:00放送「南の風」は沖縄篇と奄美篇があり、それぞれの音楽と文化を紹介する番組で、特に奄美篇はパーソナリティの大橋さんが選りすぐった島唄や奄美諸島に限らず神戸市長田区近辺で活躍している唄者の方も紹介しています。

5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

6. 審議内容

6-1. 出席者の審議

【木辻清子委員長】

- ・ 島唄を聞き慣れていないので曲が皆同じに聞こえた。
- ・ 歌の内容がもう少し分かればよかった。
- ・ 地域情報が入るのがよい。

【高木邦子委員】

- ・ 島唄は独特の節回しで良い曲だとは思いますが歌詞の意味が分からなかった。
- ・ 伝統を継承していくことは意義のあることである。

【山本幸男委員】

- ・ 全部の曲のメロディラインが同じに聞こえるが歌の内容が違うのか。

【萩尾利雄委員】

- ・ 興味がある人にとってはわくわくする番組。がそうでない人には1時間は長く感じられる。
- ・ 三線の音はよく響くが、ウィークデーの昼間のリズムとは違うのではないか。
- ・ スポンサーや熱心なファンの人を募って番組を支えるファンクラブのようなものを作ってはどうか。

【中嶋知之委員】

- ・ 大橋さんは「実にはいいですよ」という言葉をよく使っていたが、一般のリスナーにもそう感じさせてくれる仕掛けがあればよかった。

- ・ 曲のタイトル等どんな意味があるのかをもっと解説すべき。
- ・ 曲調の違うものを取り混ぜてくれればもっと聞きやすかったと思う。

【平川愛恵委員】

- ・ BGM として楽しく聞いた。
- ・ 島唄の言葉の解説をもっとして欲しかった。

【正岡健二委員】

- ・ 番組として非常にユニーク。大橋さんのキャラクターも。
- ・ 島固有の言葉なので歌の内容が分からない。ということは、パーソナリティの語りが重要になってくる。どこがどうよかったのかを詳しく説明しなければいけない。そのために曲順等構成にもっと工夫をすることと、思いを言葉で伝えるテクニックが必要。
- ・ 番組そのものは面白い。音楽的にも面白い。大橋さんは貴重な人。

【為岡務委員】

- ・ 奄美諸島は島毎に言葉が違う。音楽として心にしみる。
- ・ その地域出身者や縁のある人にしたら嬉しい番組である。

【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 奄美篇は生放送をしていますので大橋さんの本業との兼ね合いで他の曜日にずらせません。
- ・ 島唄は歌詞や楽譜がない口承、口伝の文化で、大橋さんはご自身でその歌の歌詞を起こしたり収録をして後世に残す活動に取り組んでいらっしゃいます。
- ・ この番組はインターネットで奄美諸島のみならず全国各地で多数の方が楽しみに聞いて下さっているものなので、放送時間を短くする等は全く考えておりません。
- ・ また、多文化、多言語、マイノリティを擁護する意義からも大事にしている番組であり、FM わいわいにとって存在意義のある番組です。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

- ・ 担当スタッフへの連絡

8. 審議内容の公表について

8-1. 公表内容 議事の内容

8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送 2007年9月20日 16:50~17:00 放送

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載

以上